

Y I C看護福祉専門学校 令和3年度 第2回教育課程編成委員会 議事録

日時：令和4年2月22日（火） 15時30分～16時30分

場所：5階 カンファレンスルーム

出席者：教育課程編成委員

- A 山口県看護協会 会長
- B 山口県介護福祉士会 会長
- C 介護福祉学科実習施設 施設長
- D YIC 看護福祉専門学校 看護学科卒業生
- E YIC 看護福祉専門学校 介護福祉学科卒業生

欠席者：F 看護学科実習施設 副院長兼看護部長

出席者：学内教職員

- G 校長
- H 副校長
- I 事務長
- J 付帯事業推進課長
- K 教務統括兼看護学科学科長
- L 教務課長兼介護福祉学科学科長
- M 教務課長補佐  
書記 看護学科講師

1. 校長挨拶

この会議は、カリキュラムについて、意見を伺う会である。ご意見を教育内容の改善・向上につなげたい。

2. 議事

(1) 令和3年度の教育課程に基づく取り組みと評価

(2) 令和4年度の教育計画

<看護学科>

K：資料Ⅰに沿って説明。

<介護福祉学科>

K：資料Ⅱに沿って説明。

A 委員：看護学科1年が3名進路変更しているが、具体的には、どのような分野へ進路変更したのか。

K：看護に向いていないということで、就職した。

H：やりたいことが他にあるというわけではなく、とりえずアルバイトをするという状況である。

A 委員：口腔ケアや爪足のケアを専門的に学ぶ機会があるのは現場で活かせる良い取り組みである。

B 委員：介護福祉学科の入学前教育や、前期試験前の確認試験、補講とはどのような内容か。

L：入学前教育教材は市販のものがないので、留学生向けの教材を基に作成しており、その中から出題している。要支援者を早く見つけることも目的の1つである。確認試験は、非常勤講師も含め各科目から5問ずつ問題を作成してもらっている。

C 委員：のびしろ学級は、令和3年度も実施したのか。

L：実施した。

E 委員：学生にとっては、各種制度を理解することは難しいと思う。現場に入ってからその必要性を感じている。専門性を学ぶというよりは、義務教育で行うような教育内容という印象を受ける。入学試験の合格率はどれくらいか。

L：介護福祉学科については、ほぼ全員合格である。

K：ご指摘の通りであるが、現実として、欠席の連絡など報告ができない学生がおり、そこから始めなければならぬ状況である。看護学科については、入学時、一定のラインで選考している。

D 委員：看護学科で再々試験となった科目は何か。

K：解剖生理である。

D 委員：フォームズでの課題提出の回答率は100%であるのに、再々試験になっていることは矛盾しているのでは

ないか。補講の出席率はどれくらいか。

K：フォームズでの配信を試験結果にどのようにつけていくか、今後の課題である。補講については、成績低迷者ほど出席率が悪い。早めの対応が必要である。

M：状況設定の問題理解が難しい。基礎学力の強化が課題である。体験、経験を重ねながら考える力をつけていく必要がある

A 委員：新カリキュラムでは、益々高度なレベルが求められており、3年間で習得するのは難しく、教員の負担が大きい。どの学校でも、学生の生活体験の乏しさが課題となっている。看護師、介護福祉士として、必要不可欠である。現場で働く先輩の声を学生に届けることも必要ではないか。

C 委員：介護保険の改正でも、LIFE が導入されたように、今後、PDCA サイクルが当たり前になってくる。介護実践をデータ化、数値化することが求められるが、カリキュラムにどのように反映させているのか。

G：あらゆる面でエビデンスに基づいて対策を考えることが必要である。客観視できるようデータ化することを目指していく。

K：コロナ禍で実習を経験していない学生が就職したが、問題ないか。学内実習では患者さんへの対応は経験できず、不安がある。

E 委員：現場としても覚悟していたが、コミュニケーションもとれており、例年と特に変わらない。

議題（1）、（2）について、全員一致で承認した。

### 3. その他

E 委員：基礎学力の強化が課題と言われたが、基礎学力の定義は何か。現場では、記録も電子化が進んでおり、手書きすることは減っている。論理的な思考力は必要である。

M：割合が求められないなど、計算が苦手な学生がおり、個別対応が必要である。

：字を書くことが少ないので、漢字から意味をイメージできない。漢字が書けない。

L：介護福祉学科では、留学生用の教材を活用し、専門用語の習得に取り組んでいる。

G：大学でも課題となっている。学生自身が必要性を感じたら学習するようになるが、どうしたら必要性を感じるか、そこが難しい。

I：次年度第1回の会議は、10月を予定である。